

卵肉兼用種（岡崎おうはん）に対するリサイクル飼料の給与

○太田勝美¹・山西真樹¹・宮田透²・浅井文吾¹・井出歩¹・筒井真理子¹

（¹家畜改良セ岡崎・²農林水産省）

〔目的〕我々は、限られた資源を有効活用して食料自給率の向上を図るため、また、飼料価格低減対策の一環として、卵用鶏に対する効率的なリサイクル飼料の給与方法を検討し、日本家禽学会 2010 年度秋季大会にて報告した。今回は、その際得られた知見に基づき、独立行政法人家畜改良センター岡崎牧場が作出した卵肉兼用種「岡崎おうはん」に対してリサイクル飼料を給与し、産卵性能、産肉性能等に及ぼす影響を調査し、併せて飼料費節減効果を試算した。〔方法〕岡崎おうはん・卵用交雑鶏（各雌 51 羽）を 3 区に分け、それぞれ市販の成鶏用飼料（CP:17%、ME:2,830kcal/kg：対照区）、成鶏用飼料の 15% 分をリサイクル飼料（豚・家禽用の市販品：CP:20%以上）で置換した飼料（15%区）、成鶏用飼料の 15% 分をリサイクル飼料で置換し、さらにプレミックスとカルシウムを添加した飼料（15%調整区）で給与試験した。供試鶏

について、体重、産卵性能（産卵率、卵質）、産肉性能、飼料摂取量及び糞中水分量を調査した。試験期間は 188 日齢から 258 日齢とした。〔結果〕体重、産卵性能（産卵率、卵質）、産肉性能及び飼料摂取量について、岡崎おうはん、卵用交雑鶏共に各区に著しい差異は認められなかった。一方、糞中水分量は全てのリサイクル飼料給与区（15%区及び 15%調整区）で高くなる傾向が認められた。以上の結果より、卵肉兼用種「岡崎おうはん」に給与する成鶏飼料の 15%を産卵開始後、短期間リサイクル飼料で置き換えても特段の支障が認められず、また、その際、カルシウムやプレミックスを添加する必要が無いことが明らかとなった。さらに、市販飼料やリサイクル飼料の実勢価格から試算すると、リサイクル飼料を 15%含有する飼料の給与中は 7%以上の飼料費節減が期待できることが示唆された。

卵肉兼用種（岡崎おうはん）に対するリサイクル飼料の給与

○太田勝美¹・山西真樹¹・宮田透²・浅井文吾¹・井出歩¹・筒井真理子¹

（¹家畜改良セ岡崎・²農林水産省）

演題希望分類：飼料・栄養

（遺伝・育種、繁殖、生理、疾病、飼料・栄養、経営・管理・畜産物利用、より選択する。）

優秀発表賞の対象者：

（講演者が発表時点で学生あるいは満 30 歳以下の場合は、◎印を付ける。）